

連絡先 自動車局審査・リコール課 リコール監理室  
 TEL 03-5253-8111 内線42354  
 アドレス : <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成26年9月18日

リコール届出番号	3435	リコール開始日	平成26年9月19日
届出者の氏名又は名称	日産自動車株式会社 取締役社長 カルロス ゴーン 問い合わせ先：お客さま相談室 TEL 0120-315-232		
不具合の部位（部品名）	①原動機（エンジン制御コンピュータ） ②原動機（駆動モータインバータ） ③動力伝達装置（自動変速機）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①エンジン制御コンピュータのプログラムが不適切なため、スロットルポジションセンサからの信号が異常だと判断した場合、フェールセーフ制御によりスロットル開度を固定状態にするが、当該制御中にスロットルポジションセンサからの信号が正常に戻った場合、スロットルが徐々に開くことがある。そのため、エンジン回転が徐々に上昇し、アクセルペダルを踏んでいないにもかかわらず加速するおそれがある。 ②駆動モータインバータの制御コンピュータのプログラムが不適切なため、当該コンピュータが自動変速機のギヤ位置等の信号を受信する際に通信異常と判定する場合がある。そのため、警告灯が点灯し、最悪の場合、駆動モータが停止して走行不能になるおそれがある。 ③自動変速機のケースの製造が不適切なため、ケースに亀裂が生じたものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると亀裂が進行し、最悪の場合、ケースが破損して走行不能になるおそれがある。		
改善措置の内容	①全車両、当該エンジン制御コンピュータのプログラムを修正する。 ②全車両、当該駆動モータインバータの制御コンピュータのプログラムを修正する。 ③全車両、当該自動変速機を点検し、亀裂がある場合は、良品と交換する。		
不具合件数	①、③なし、 ②14件	事故の有無	①、②、③なし
発見の動機	①社内からの情報による。 ②市場からの情報による。 ③取引先からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：ダイレクトメール等で通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近にNo.3435のステッカーを貼付する。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ニッサン	DAA-HY51	「フーガ」	HY51-400001～HY51-800009 平成22年9月30日～平成26年7月18日	8,680	①8,680 ②1,209 ③ 348
	DAA-HGY51	「シーマ」	HGY51-600001～HGY51-603116 平成24年4月19日～平成26年7月21日	3,115	①3,115 ③ 171
	DAA-HV37	「スカイライン」	HV37-200001～HV37-205232 平成26年1月28日～平成26年7月28日	5,232	①5,232 ②5,041 ③ 1
	DAA-HNV37		HNV37-300001～HNV37-301413 平成26年1月25日～平成26年7月17日	1,413	①1,413 ②1,289

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象車の 台数	備考
三菱	DAA-BHGY51	「ディグニティ」	HGY51-650002～HGY51-650096 平成24年6月26日～平成26年7月15日	95	①
	(計 5 型式)	(計 4 車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成22年9月30日～平成26年7月28日	(計 18,535 台)	①18,535 ② 7,539 ③ 520

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。